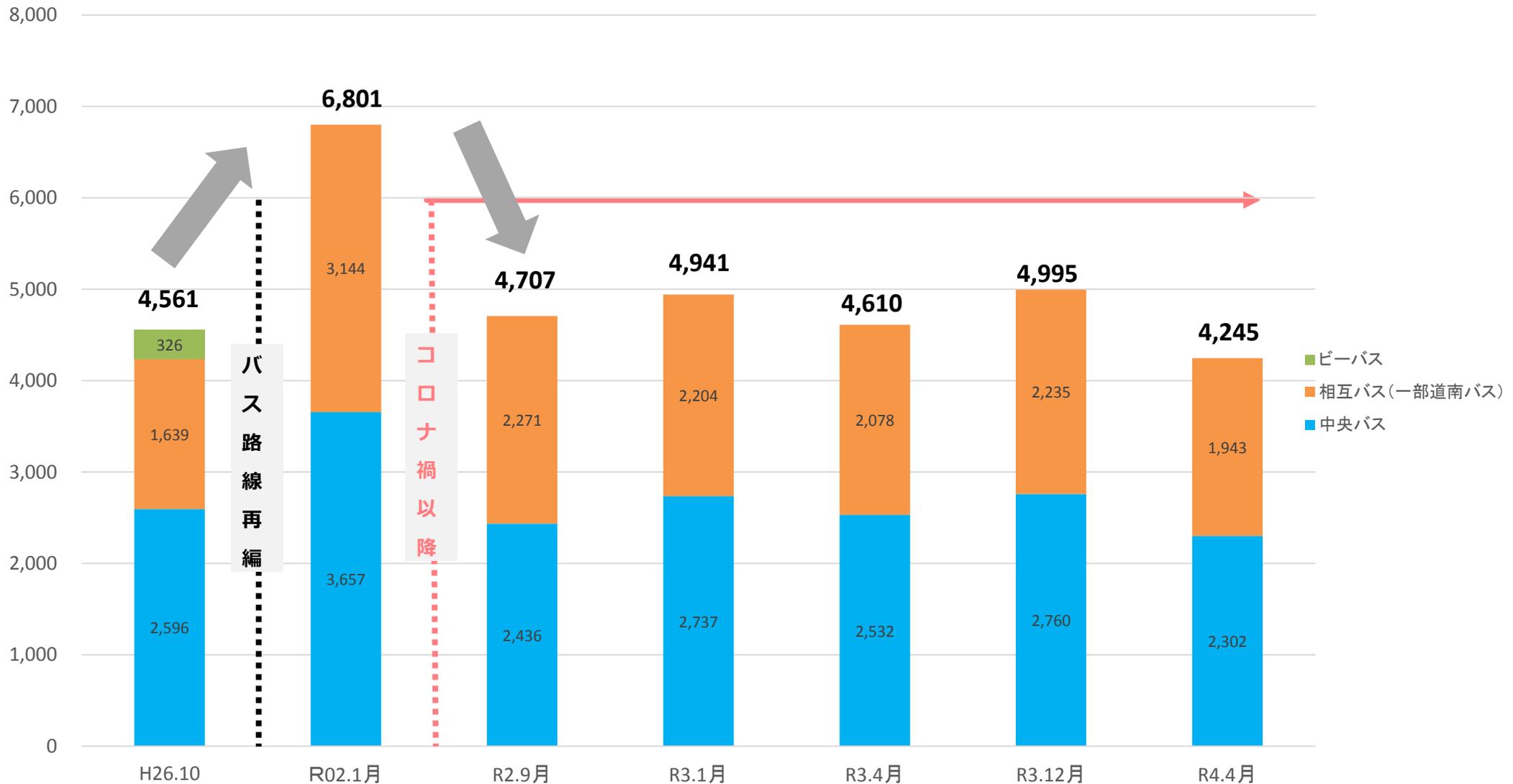


# 千歳市における 路線バスの利用状況について

# バス乗降調査結果

実施日：令和4年4月21日（木）（中央バスは4月14日（木））  
※例年、春と冬に各社調査日を合わせて実施（今回は都合により1週のずれ）



▶再編後は増加傾向が続いていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、再編前と同程度まで減少し、その後は、ほぼ横ばいが続いている。

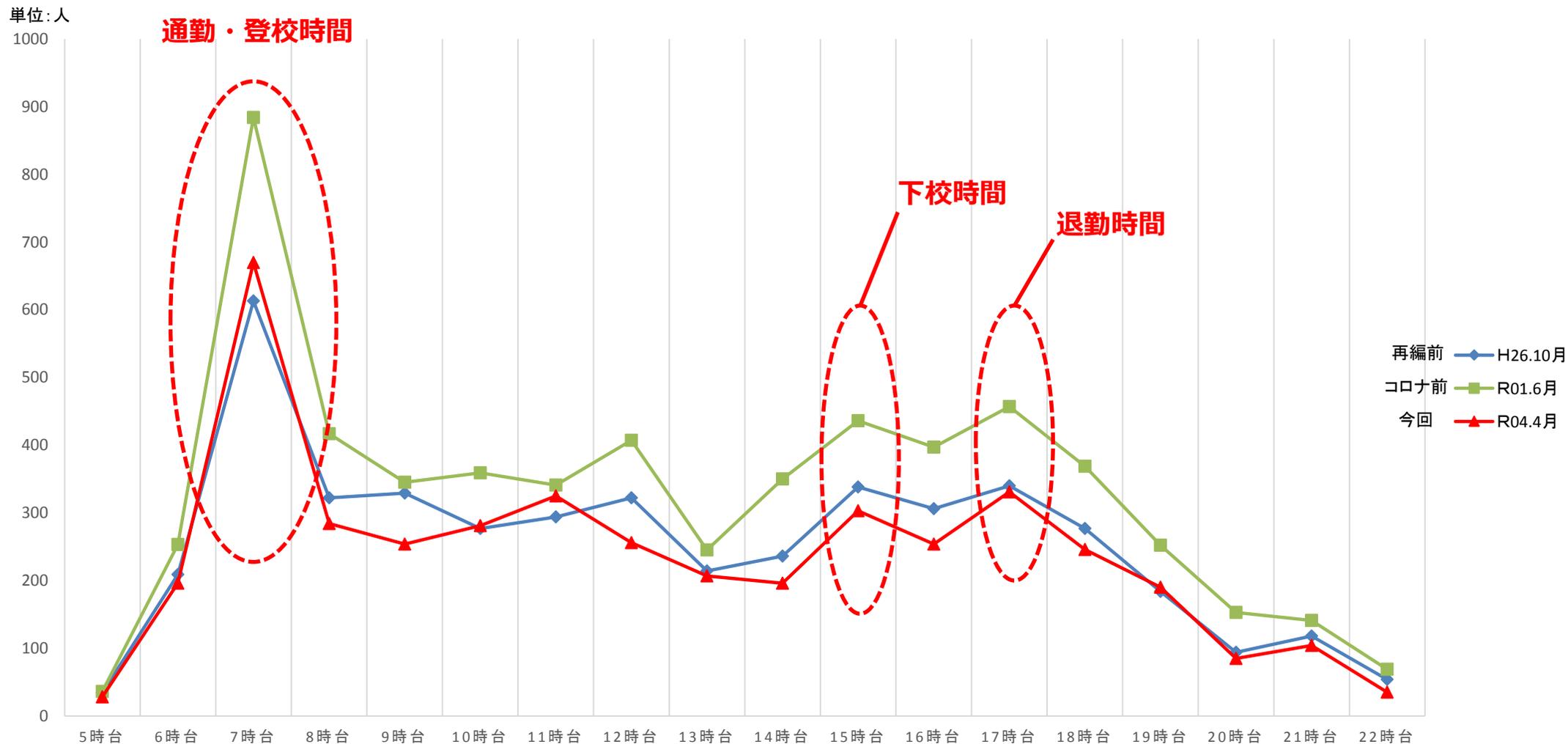
# キロ・便当たりの利用者数

運行路線		利用者数(人/日)	営業距離(km/日)	便数	キロ当たり利用者	便当たり利用者
中央バス	稲穂団地線	368( +11)	222.9	27	1.65(+0.05)	13.6(+0.3)
中央バス	桜木空港線	78( ▲6)	54.7	3	1.43(▲0.23)	26.0(▲2.0)
中央バス	桜木線	261(▲178)	268.4	23	0.97(▲0.34)	11.3(▲4.4)
中央バス	みどり台空港線	45( ▲7)	28.6	2	1.57(▲0.25)	22.5(▲3.5)
中央バス	みどり台線	178( ▲50)	198.7	27	0.90(▲0.25)	6.6(▲1.8)
中央バス	支笏湖線	157( +49)	272.4	8	0.58(+0.18)	19.6(+6.1)
中央バス	新星空港線	580( ▲42)	404.7	31	1.43(▲0.11)	18.7(▲1.4)
中央バス	空港市内線	199( +41)	108.3	12	1.84(+0.38)	16.6(+3.4)
中央バス	東部隊線	414( ▲71)	299.5	47	1.38(▲0.08)	8.8(▲0.5)
中央バス	桜木長都線	22( — )	34.8	8	0.63( — )	2.8( — )
千歳相互バス	泉沢向陽台線	328( +14)	321.7	25	1.02(+0.04)	13.1(+0.5)
千歳相互バス	泉沢市民病院線	919( ▲80)	752.4	46	1.22(▲0.11)	20.0(▲1.7)
千歳相互バス	図書館青葉線	181( ▲36)	142.8	17	1.27(▲0.25)	10.6(▲2.2)
千歳相互バス	市民病院プール線	137( ▲43)	128.0	16	1.07(▲0.35)	8.6(▲2.7)
相互・道南	勇舞空港線	378( +10)	365.7	28	1.03(+0.02)	13.5(+0.4)

※カッコ内は 前回（令和3年4月調査）数値との差

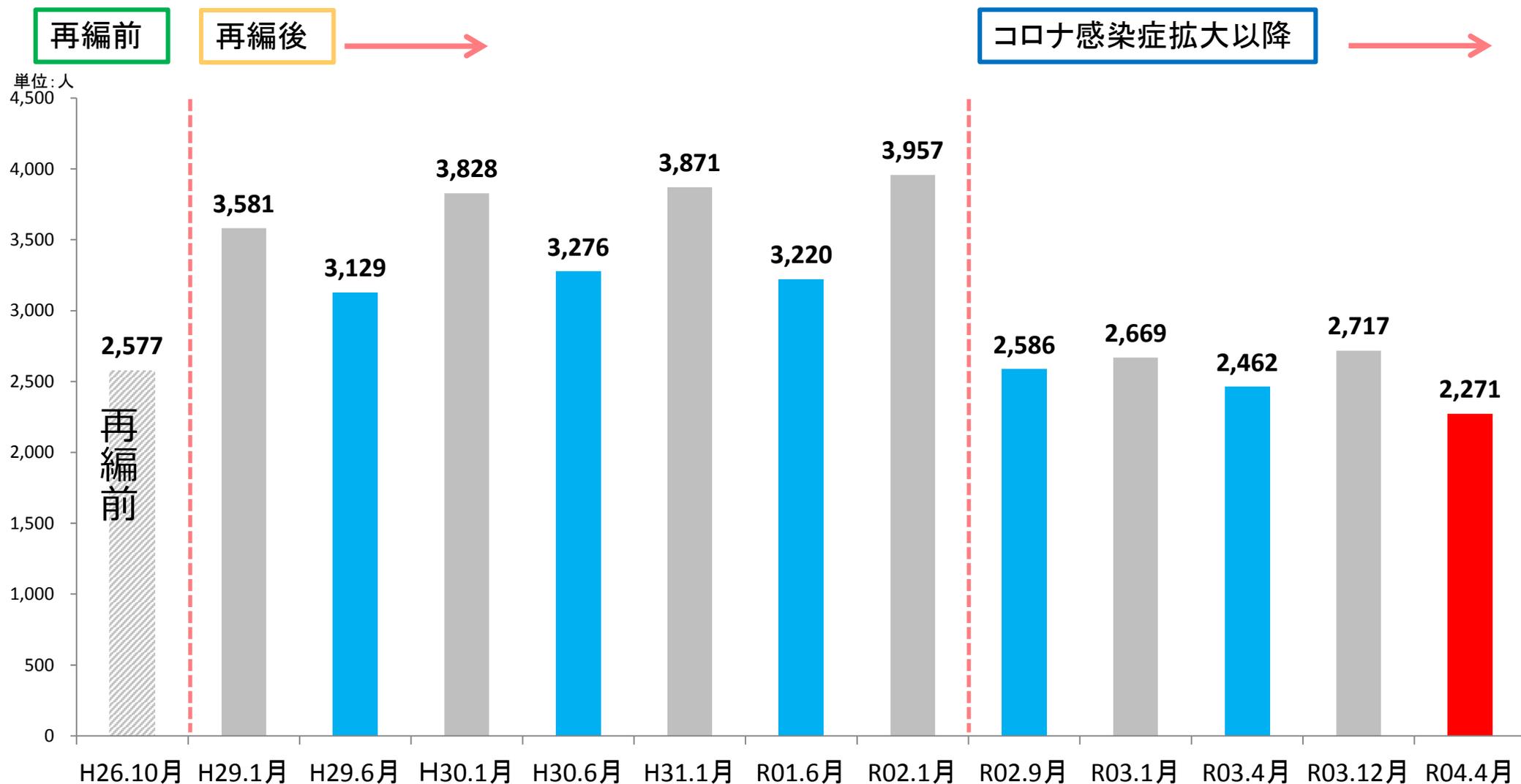
▶全体的に減少している路線が多くなっているが、主に通勤・通学に利用される路線や空港と市街地を結ぶ路線などでは回復も見られる。キロ当たりの利用では、空港市内線の利用者が多く、便当たりの利用では、桜木空港線の利用者が多くなっている。

# 時間帯別利用者数推移（再編前とコロナ後）



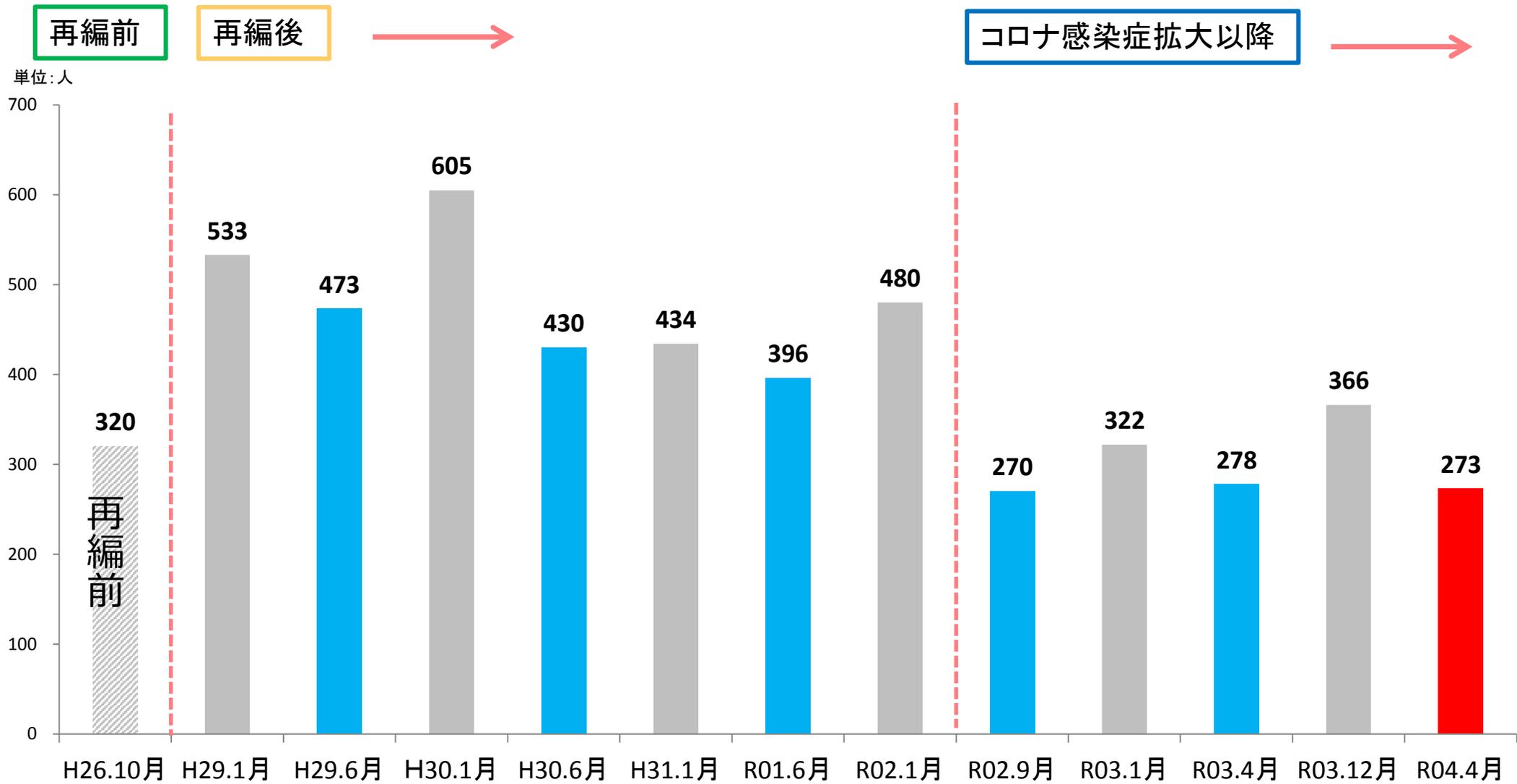
▶コロナ前後を比較すると、全ての時間帯において、バス利用者は減少傾向である。  
通勤時間帯である朝と夕方に利用が集中している傾向はコロナ後も変わっていない。

# 千歳駅 乗降人数比較



▶ コロナ前の令和元年6月は、再編前と比較し、約1.2倍増となっていたが、新型コロナウイルス感染症の影響で減少し、その後は、ほぼ横ばいが続いている。

# 市民病院 乗降人数比較



▶ コロナ前の令和元年6月は、再編前と比較し、約1.2倍増となっていたが、新型コロナウイルス感染症の影響で減少し、その後は、ほぼ横ばいが続いている。

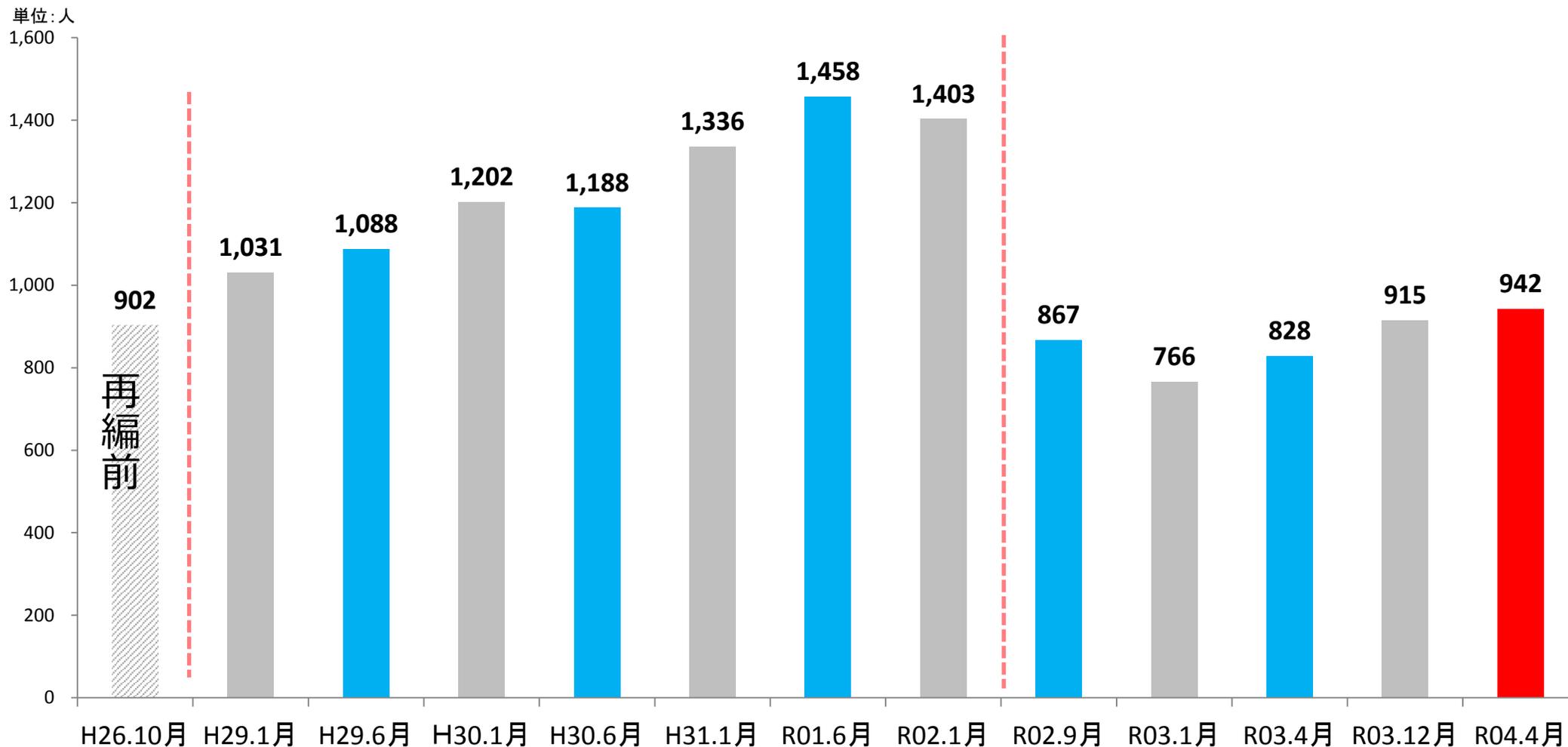
# 新千歳空港 乗降人数比較

再編前

再編後

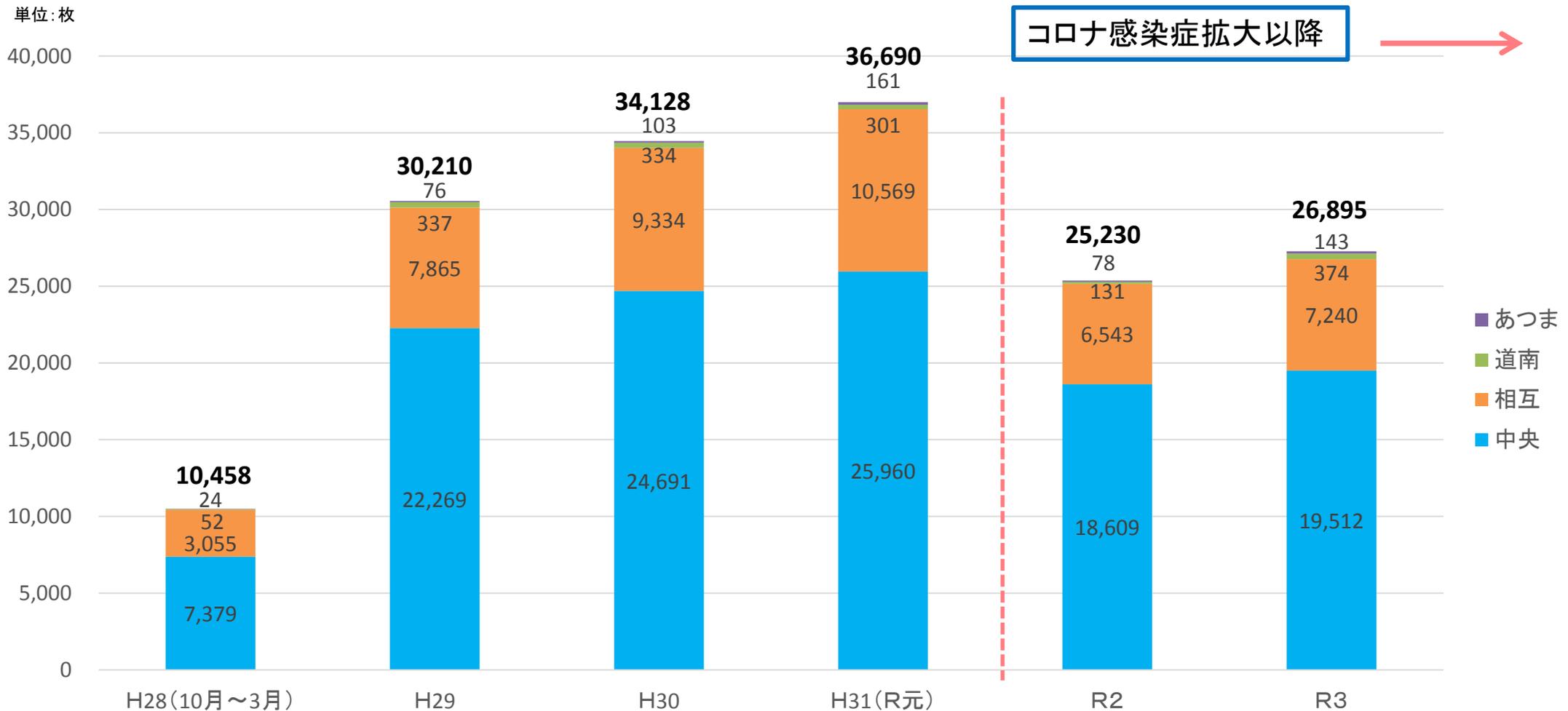


コロナ感染症拡大以降



▶コロナ前の令和元年6月は、再編前と比較し、約1.6倍増となっていたが、新型コロナウイルス感染症の影響で大幅に減少し、その後は、徐々に回復傾向が見られる。

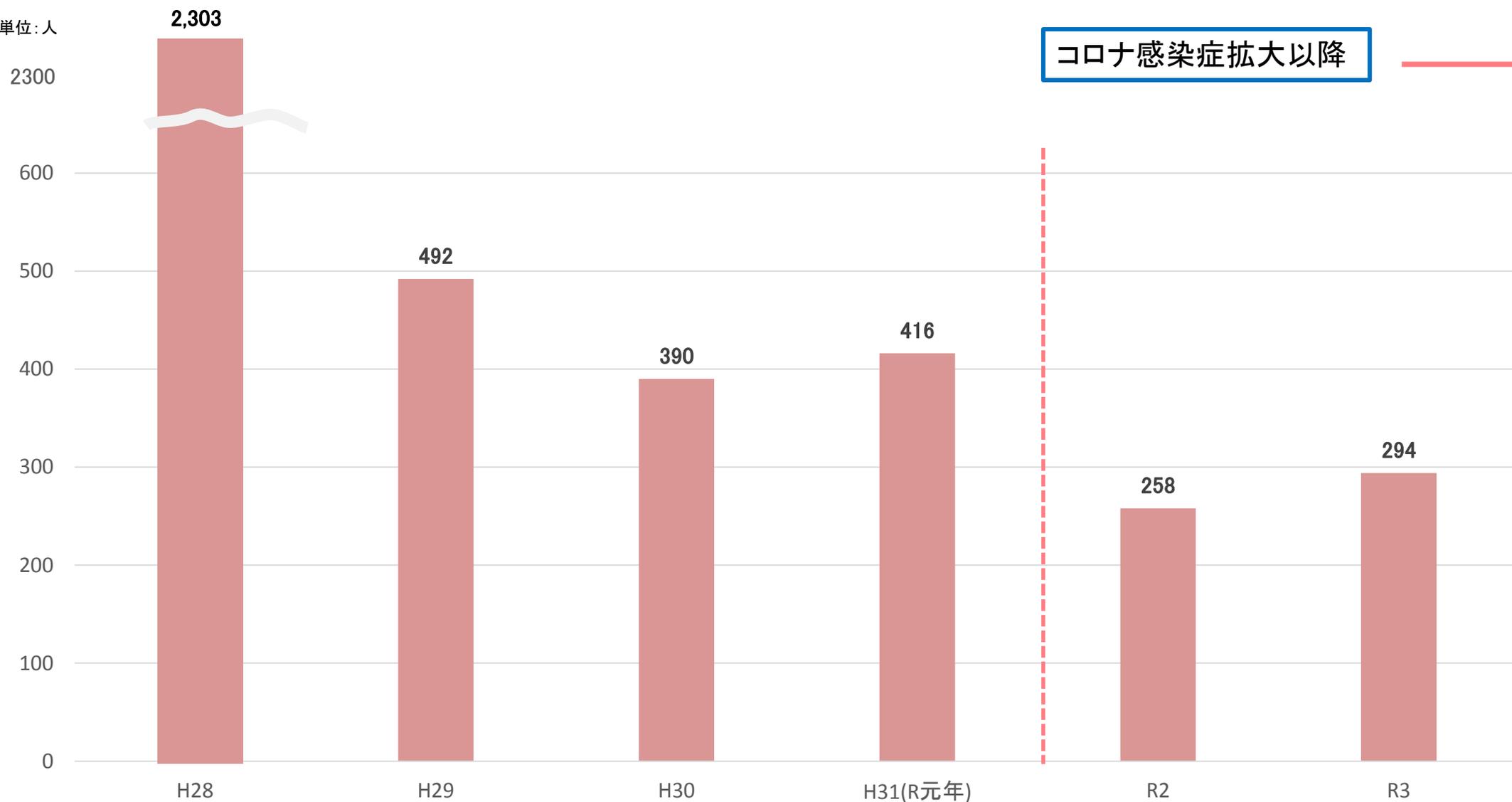
# 乗継チケットの利用状況



▶乗継チケットの利用者は、制度の浸透とともに少しずつ増加してきたが、新型コロナウイルス感染症の影響により減少し、今回は回復傾向が見られる。

# シルバーおでかけパス発行数

単位:人



▶シルバーおでかけパスの発行数は、毎年度400前後で推移してきたが、新型コロナウイルス感染症の影響により減少し、今回は回復傾向が見られる。